

校訓：進取 誠実 敬愛 ～よりよく学び 心豊かに たくましく～



のびる太白台

学校だより
1 1 月号
R 4.10.31

津幡町立太白台小学校

10月16日(日)に、今年度2回目のPTA資源回収が行われました。天候にも恵まれ、たくさんの保護者の皆様・児童・地域の皆様のご協力のもと、無事終了することができましたことを感謝申し上げます。マスク越しではありましたが、学校や児童のために汗を流して活動される表情は、頼もしく素敵でした。お世話されたPTA環境部の皆様も、準備や作業は大変だったとは思いますが、収益等を度返しして手ごたえを感じていらっしゃる様子でした。ありがとうございました。

最近、日常生活の中で新型コロナウイルス感染症に対する意識が低下しているように感じています。学校では油断せず予防対策を継続しながら、児童の安全安心を守っていきたくて考えています。ご理解ご協力をお願いします。

ハス遠足(社会科見学)and 遠足



1, 2年 のとじま水族館

ペンギンたち、行儀がいいね。



ジンベイザメの大きさにびっくり！まだまだ大きくなるはずです。

イルカショーも観ることができて、大満足でした。



3年 能美市 防災センター

水消火器を使って、画面に映る火を見事に消火することができました。



4年 九谷焼絵付け体験

後日完成品が届きます。どんな仕上がりか、楽しみです。



5, 6年 森林公園フィールド アスレチック

往復約14km+フィールドアスレチック。先生方が疲労困憊で、子どもたちは元気一杯でした。さすが太白っ子！

令和4年度 学力調査結果報告 (Part.2)

先月の学校だよりでは、本校児童の調査結果とその分析について掲載しました。今回は、質問紙調査結果の概要（抜粋）と学力調査結果を受けての取組について掲載します。

質問紙調査の意義

毎年学力調査の際には、学力についての調査と生活面や意識などについての調査（質問紙調査）を行っています。これは、結果を学力の面だけでとらえるのではなく、生活習慣や学習への意欲・環境などを含めて多面的にとらえて改善を図ることをねらっているためです。

<6年生の質問紙調査より> ○はよい傾向にある項目（国・県平均を上回っている項目）

△は課題となる項目（国・県平均を下回っている項目）

- 人の役に立つ人間になりたいと思う割合
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」に「当てはまる」と回答した割合
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に「当てはまる」と回答した割合
- 「学校の授業以外に、普段（月～金）1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」に「1時間以上」と回答した割合
- 「普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間、ICT 機器を勉強のために使っていますか」に「1時間以上」と回答した割合
- △「普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間、携帯やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか（学習時間やゲーム時間以外）」に「2時間以上」と回答した割合（国・県平均を上回っている）
- △「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

<4年生の質問紙調査より> ○はよい傾向にある（県平均を大きく上回っている項目）

△は課題となる項目（県平均を下回っている項目）

- 「社会の勉強は好きだ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合
- 「自分の考えを发表或し合ったり、話し合ったりすること」を「好きだ」と回答した割合
- 「問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」に「当てはまる」と回答した割合
- 「授業の中で、目標（めあて・ねらい・課題）が示されていた」と思う割合
- 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」と思う割合
- 「昼休みや放課後、学校や地域の図書館に週1回以上行く」と回答した割合
- 今住んでいる地域の行事に参加していると回答した割合
- △「算数の授業の内容はよく分かる」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合
- △「普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、テレビ・ビデオ・DVD を見たり、聞いたりするか（勉強以外）」に「4時間以上」「3～4時間」と回答した割合（県平均を上回っている）
- △「普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（PC ゲーム・携帯ゲーム・携帯やスマートフォンなどを使ったゲームを含む）をするか」に「4時間以上」「3～4時間」と回答した割合（県平均を大きく上回っている）



【今後の取組】

(1) 授業での取組

- ・授業でのキーワードを設定し、それを用いた説明やまとめを、主張（S）根拠（K）理由（R）の三角ロジックで示す指導をします。
- ・題意を正しく捉えるために、問題文を2回以上読むとともに、整合性のとれた解答になっているか確認する場を設けます。

(2) その他の取組

- ・自校作成の学力アッププリント（基礎及び活用）を、金曜日の朝学習時に繰り返し取り組みます。
- ・本校教員や地域の学習支援者等による補充学習（パワーアップタイム）等の学習支援を行います。

(3) ご家庭と連携・協力した取組

- ・学期に一度、家庭学習の強化週間を設け（どんどんカードの取組）、家庭と協力して充実させていきます。



秋のファミリー読書週間から

「読書の秋」ということもあり、10月17日から23日まで、6月同様ファミリー読書週間を設定し、5通りの方法（下記参照）から選択して親子で楽しむ取組を行っていただきました。親子の交流・心の栄養補給の機会になったことと思います。お忙しい中取り組んでいただき、ありがとうございました。

お寄せいただいた感想の一部を紹介します。

- ①大人と子どもで同じ本を一緒に読む。 ②大人が子どもに読んで聞かせる。
③子どもが大人に読んで聞かせる。 ④大人と子どもで読書タイムをもつ。（別々の本を読む）
⑤大人と子どもでそれぞれに読んだ本の感想を話す。

1年保護者 取組②「ごめんね ともだち」
いつも忙しくて、読み聞かせの時間が取れない中このような機会をもて、子どもたちの反応がかわいかった。

1年保護者 取組③「どこ？どこ？かぎどこ？」
子どもが読んで聞かせてくれました。初めて読んだ本でしたが、すらすら読んでいて、こんなにも文字が読めるようになったんだと、感動しました。本に鍵を探すページがあり、子どもと一緒に楽しみながら読むことができました。

2年保護者 取組④「バムとケロのおかいもの」
別々の本を読みましたが、同じシリーズの本なので共通のキャラクターについて子どもと話をすることができたり、子ども目線での見方に驚かされたりすることも多くあってよかった。

3年児童 取組①「なまずこのっぺ」
カーソン・エリスさんが考えた虫の言葉がとてもおもしろかったです。
声を合わせておもしろい言葉を言うのが楽しかったです。

3年保護者 取組②③「学校の怖すぎる話」
気持ちを込めて怖く読むと笑っていました。怖いよりおもしろいが勝ったみたいです。

4年保護者 取組②「うそ」中川たかひろ
前にも読んで聞かせたことがある本で、クスッと笑ったり考えたりしながら聞いてくれました。
「うそ」谷川俊太郎
上の本と比べながら聞いてくれました。「うそ」と「ほんと」の間を考えるきっかけになったかもしれません。

4年児童 取組①「はなをくんくん」
春のにおいは、いいにおいだとぼくは思いました。

4年保護者 取組①「はなをくんくん」
子どもが本を選んでくれました。
冬眠中で目を覚まし、生き物が花のにおいに誘われて集まるので、子どもとどんなにおいなんだろうね？と話していました。

5年保護者 取組①「どっちでもいい子」
主人公の女の子はまじめ過ぎ、考えすぎてどっちかを選べない子です。少し娘に似ているなと思いました。子どもの心のゆれがとても分かりやすく書かれていて勉強になりました。

5年児童 取組①
「ごめんねともだち」
ケンカをした時は、「ごめんね」と言えないけど、相手のことを考えれば言えるかもしれないと思いました。

5年保護者 取組①「ごめんねともだち」
『自分が悪かった』と思っても、なかなか言えない言葉の一つが「ごめんね」だと思います。子どもたちのケンカを見ていてもよく思います。これは大人になるともっと言いづらく、子どもの時の方が素直に言えていたような気がします。大人になっても素直な気持ちでいいといけないなと思いました。

6年保護者 取組④「ラクして時短のそうじワザ」
毎日使う場所がきれいで保たれていると、心も体も軽くなったように感じます。学校の掃除も進んで取り組んでほしいです。

6年保護者 取組④
時々読書タイムをもっています。本は心を豊かにし、知識も身に付くので、これからもこの時間を大切にしていきたいと思っています。